

## 第22回さいたま市児童生徒ICTメディア作品コンクールの結果

## 【最優秀作品の紹介】

## ●情報モラル作品の部

## 最優秀賞「そのサイト 『今なら』 無料 『今なら』 ね」【標語】

道祖土小学校 5年

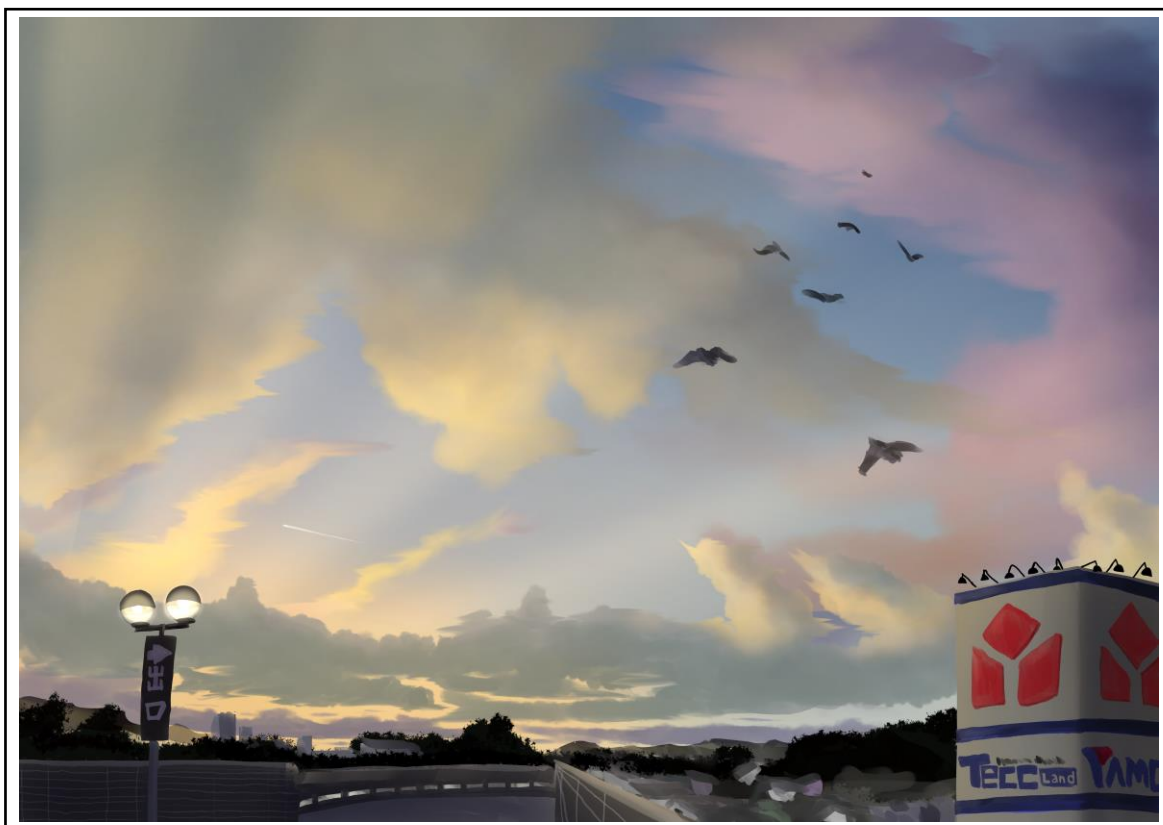
インターネット上には無料を語って人を引き付け、後に課金を促したり支払いを求めたりするサイトが数多く存在します。「無料」という一見魅力的な言葉に惑わされることなく、インターネットの適正な使用を啓発する標語。

## ●静止画作品の部（イラスト部門）

## 最優秀賞「家族で見た夕焼け雲」

尾間木小学校 3年

家族と一緒に見た景色を繊細かつ細かいタッチで表現したイラスト。陽が落ちかけている時間帯の光の入り方や雲の色が特徴的です。細部にこだわってかきこみがされていて、とても丁寧に仕上げられています。



●動画作品の部

最優秀賞「SDGsで作る豊かな村」

上木崎小学校 3年

SDGsの目標を達成するための施設をマインクラフト上でつくり、それらを集めた村を紹介するスライド。作り手が意図した順番に見ていくスライドではなく、スライドを見る側が自分の興味に応じたページを見に行けるようリンクが貼られています。マインクラフトの製作技術の高さだけでなく、SDGsに関する知識の高さや情報の受け手に配慮が見られる完成度の高い作品になっています。



●プログラミング作品の部

最優秀賞「だるまさんがころんだ」

大宮北小学校 4年

ゲームが始まると、「だるまさんが…」と自動でメッセージが表示され、だるまさんがプレイヤーの方を向いたときに「進む」ボタンを押すとゲームオーバー。コンピュータを相手に対戦しているようにプログラミングされている作品。だるまに近づくとだるまが振り向くまでの時間が短くなったり、プレイヤーの一步分の距離に短かったりするなど、ゲーム性を高める工夫がされています。

